

特集

各種展示会開催！ほか



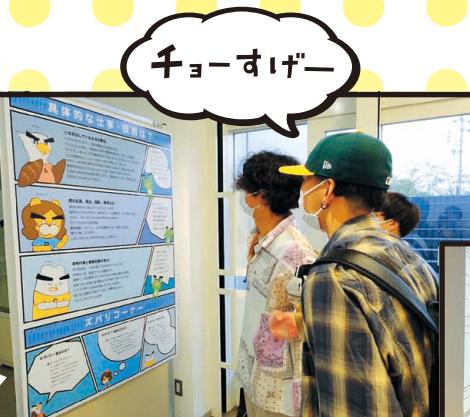
# さがせ!みらいの自分展

10月12日(火)～22日(金)に本学B棟1階の展示室にて、情報学部 情報デザイン学科 桐山研究室と同科3年の嶋田菜帆さん、松原知里さん、丸山寛矢さんの3人が、学生の就職活動を支援するイベント「さがせ!みらいの自分展」を開催しました。本展示会の企画、企業への取材から会場設営など全て自分達の手で行い、2週間で320人の来場者を動員しました。桐山講師と学生3人に、本展示会を運営するきっかけや苦労したことなどをインタビューしました。



▲広報用ポスター

**YEEAAAHH!**



キョーすけー

▲展示会で上映した動画

▲左から桐山講師、丸山さん、嶋田さん、松原さん

▲足跡ステッカーも作りました

**司会:**今回このようなイベントを開催するきっかけは何だったのでしょうか?

**桐山:**本学卒業生で吉田建設社長の吉田様から、建設業界に興味を持ってもらえるような機会を設けてほしいとの相談がありました。建設業界は学生にとってなじみがなく、力仕事のイメージがありますが、実際には様々な職種があります。就職活動では業界研究をする学生は多いのですが、「職種」についてはあまり知られていない。そこで、「職種」に対する理解を深めてもらうことにフォーカスし、多くの学生にアピールするため、展示会を開催したらしいのではないかと思い、3人の学生に打診し、展示会の運営全般を学生に考えてもらうことになりました。

**司会:**3人はもともとお友達だったのでしょうか。

**松原:**同じ学科なので顔見知りではありましたが、あまり面識はありませんでした。

**丸山:**男子は私だけだったので最初は不安に思いました。

**司会:**先生から今回の依頼があった時どのように思いましたか。

**松原:**建設業界のイメージがなかったことと、コロナの影響で先方との打合せもなかなかできず、スケジュール通りに進まなかったため、本当にうまくできるのか不安でした。

**司会:**展示会開催にむけ、何から始めたのでしょうか。

**松原:**まず、さまざまな展示会の展示空間について、また、ポスター等の掲示や演出のしかたを調査しました。次に全体のコンセプト、雰囲気を検討し、学生向けということでマンガ風に決定しました。

**嶋田:**学生に来てもらうならマンガ風が良いと、3人一致ですぐに決まりました。

**司会:**それでキャラクターを制作したのですね。

**3人のそれぞれの役割は何だったのでしょうか。**

**嶋田:**私はキャラクター、来場者配布用のグッズ、

タイトルロゴやポスター、チラシ等のデザインを担当しました。

**司会:**メインキャラクターはカエルなのですね。どうしてカエルに?

**嶋田:**カエルはオタマジャクシから成長しますよね。この展示会を見てもれば、学生もカエルに成長できるという願いを込めてカエルにしました。

**司会:**カエルのほかにも、ライオン、タカ、クマがいますね。それぞれ選んだ理由は?

**嶋田:**ライオンは、就活に「トライする」という意味でダジャレを込めて決めました。タカは大空を自由に飛び回り、広い視点で観察できるようなイメージで。クマは「ワークマ?!」かな。これもダジャレです(笑)。キャラクターを生み出すのは相当悩んで、2人にもかなり相談しました。

**司会:**このキャラクターは何を使ってデザインするのですか?

**嶋田:**イラストレーターを使ってデザインしました。

**丸山:**僕は動画制作を担当しました。吉田建設様のビデオを何回も見て建設業界のイメージが爽やかに感じられるようなアニメーションを制作することにしました。

**司会:**このような動画制作の方法を習う授業もあるのでしょうか。

**丸山:**基本的な動画制作の方法は授業で習います。情報デザイン学科では、グラフィックやサウンドなど多様なデザインについて学び、3年から自分の選択した分野について専門的に学んでいくのが特徴ですね。

**松原:**私は展示会の空間・レイアウトのデザイン、企業との取材などを担当しました。

**司会:**何程度取材したのですか?

**松原:**企業の取材は、建設会社、ラジオディレクター、看護系レンタル会社の3社に取材しました。建設会社は吉田建設様、ラジオディレクターは情報

デザイン学科の小島先生の紹介、看護の会社は合同企業説明会への参加がきっかけです。

**司会:**今回の展示会の反響はいかがですか?

**松原:**展示室を使ったこのような展示会が初めてだったので、浮き出るグラフィックやガラス窓の装飾など手作り感もあるけど、しっかりした作りになっているとの声が多くかったです。パネルとかは業者にどうやって頼んだの?と聞かれることもあり、自分達で全て作りました!と答えると驚かれていました(笑)。皆さん一様にほめて頂く事が多かったように思います。「ちょっと気になって」来てくれる学生や、先生方がいろいろな方を連れてきてくださることも多く、本当にありがとうございました。

**司会:**展示会運営にあたって苦労したことをお聞かせ下さい。

**全員:**全部が大変でした(笑)。

**嶋田:**最初はキャラクターも全然浮かんでこなくて。一番ピンチだったのが、来場者配布用グッズの納期を忘れてしまってて。気づいた時点でもう直ぐに発注しないといけなくて(笑)先生に連絡してたくさんやりとりをして、何とか間に合いましたが、睡眠を削って作業をした日も何日かあります(笑)。本当に焦りました。とにかく大切に追われましたね。

**松原:**企業にどんな質問をするのか決めるのに時間がかかりました。先方に案を提示したら、ほとんどやり直しになりました(笑)。質問の言い回しや、聞き方などをアドバイスしてもらいました。仕事の面白さややりがいを聞いた方がよいとも。また、取材内容をまとめるのは大変でしたね。レイアウトもどのようにしたら見やすいか考えました。伝えたいことがたくさんあるけど、文字は少なく、一見して分かるものがよいとか。展示室の全体的な配置も悩みました。

あと、告知の宣伝のためチラシやポスターを作り、先生方のメールボックスに入れたり、キャリア



センターの方にも企業向けに告知してもらったり、集客にも苦労しましたね。

**丸山:**授業では動画制作の基本までは学んでいたのですが、クオリティをあげるため、YouTubeなどできなりたくさんの動画を見て勉強しました。当初は動画制作の予定はなかったのですが、やっぱりあった方がよいという意見になって、すごく不安でしたらが、後に引けなくなってしまいました(笑)。

**司会:**では、最後に今回の展示会を運営した感想をお一人ずつお願いします。

**嶋田:**納期に追われたことは大変でしたが、社会人になる前に良い経験ができたと思いました。

**丸山:**建設会社のPR動画を制作した際に、先方と何度もやりとりして、このシーンはこんな感じでとか要望を頂いたり、実際に仕事を体験できたのは大きな財産になると思います。

**松原:**ビジネス的なメールの書き方や、普段関わることのない人と多く接することができたり、自分の視野も広がったと思います。将来、広報とか宣伝の仕事をやってみたいと思っていて、やっぱり人に思いを伝える仕事は楽しそうだと改めて思いました。あと、やっぱりこの3人でできたことが本当に良かったです。

**桐山:**今回の展示会については、普段授業では見れない学生の動きをみることができて、大変勉強になりました。授業では具体的な指示を出しますが、今回は具体的な指示は出さなくとも彼らが当事者意識を持って取り組んでくれました。それぞれが自分の役割をしっかり理解し、3人で協力し、私が思いつかないようなアイデアもたくさん出してくれました。学生がチームワークを大事にし、主体的に動いてくれたことに本当に感動しました。私自身も良い経験ができましたし、彼らの今後の就職活動、卒業後においても、かけがえのない経験になること思います。



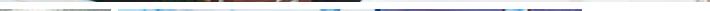
▲こんなグッズをプレゼントしました

## 建築専攻/インテリアデザイン専攻

### 「優秀作品X」を開催しました!

10月3日(日)～8日(金)に工学部 建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻の学生たちの優秀作品を展示する「優秀作品X」を開催しました。この作品展では、建築設計やインテリア設計等の授業で作成した設計課題のうち、特に優れた作品を展示しました。作品だけではなく、コンセプトや説明等をパネルにまとめ、展示しました。また、この作品展は企画から、ポスター制作、受付、広報、コロナウイルス感染予防対策など運営に関することは学生が全て行いました。

学生の優秀作品展は毎年B棟1Fで開催されていましたが、今年は新校舎X棟建築・インテリアギャラリー X0143、ラーニングコモンズ X0144で開催しました。今後も継続的に学生の優秀作品を展示し、学生のモチベーションアップやブラッシュアップにもつなげていく予定です。



藤井啓輔さん、松岡尚也さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

## 日本機械学会2021年度年次大会で研究発表を行いました

9月5日(日)～8日(水)に日本機械学会2021年度年次大会が「グローバル社会の分岐点に機械工学は何をすべきか?」をテーマとし、千葉大学で開催されました。年次大会では、大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 坪井研究室 2年 藤井啓輔さん、松岡尚也さんが研究発表を行いました。

発表した研究テーマは下記の通りです。

### ◆藤井 啓輔さんの研究テーマ

境界・混合潤滑下における微細断続切削で加工されたテクスチャ表面が摺動特性に与える影響

The effect of textured surface with interrupted micro cutting process on sliding characteristics under mixed and boundary lubrication

### ◆松岡 尚也さんの研究テーマ

流体潤滑下における凸型テクスチャがもたらす流体動圧効果に関する数値的研究

Numerical study on the fluid dynamic pressure effect of convex-shaped texture under fluid lubrication

### 日本機械学会 2021年度年次大会について

<https://confit.atlas.jp/guide/event/jsme2021/top>



番屋愛香里さん、山岡敬汰さん(建築学科 建築専攻)

## 建築新人戦2021で100選に選ばされました

工学部 建築学科 建築専攻 3年 番屋愛香里さん、山岡敬汰さんの作品が建築新人戦2021で100選に選ばされました。建築新人戦は、所属する全国の教育機関(大学・短期大学・専門学校・高等専門学校)で取り組んだ設計課題作品を対象に実施するコンテストです。一次審査を突破した100作品は、展覧会場に展示され、二次審査・公開審査会において最優秀新人を決定します。大学の枠を超えて多様な建築の議論の場として、またこれが今後活躍の期待されるゴールデンルーキー発掘の場であることも「建築家教育」の可能性を開くものです。他校の学生との設計課題作品を介した交流を通じて、自らの構想や技量そして自身の所属する教育環境を問い合わせ直す場でもあります。

9月18日(土)～20日(月・祝)の会期で、梅田スカイビル タワーウエスト3階を会場とし、1次審査で選出された100作品が展示されました。9月19日(日)には同ビルステラホールにて、2次審査で選出された8作品の公開審査会・プレゼンテーション及び表彰式が行われました。

### 建築新人戦2021のHPはこちら

<https://www.kenchiku-shinjinsen.com/>



### 結果発表はこちら

<https://www.kenchiku-shinjinsen.com/2021top100>



▶山岡さんの作品



▼番屋さんの作品



中條大地さん(情報デザイン学科)

## 学生CGトライアル 「WHO'S NEXT?」で入賞しました!



CG業界誌で有名な「CGWORLD」が主催している学生限定CGトライアルコンテスト「WHO'S NEXT?」で、情報学部 情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻4年 中條大地さんの作品が入賞しました。「3DCGを用いた静止画作品」というテーマに対して応募のあった過去最高の185作品の中から、中條さんの作品『下校時刻 B棟3F 可塑美術室』が20位に選ばれ、「CGWORLD」のオンラインサイト「CGWORLD.jp」に掲載され、審査員からも高評価を得ました。



掲載されている中條さんの作品はこちら(当ページ中ほど、20位)

<https://cgworld.jp/regular/whosnext202107-3.html>

学生CGトライアル「WHO'S NEXT?」の概要はこちら

<https://cgworld.jp/news/event/whosnext-202107.html>



中野一朗さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

## 『プラズマ応用科学誌29号』に論文が掲載されました

6月発行の『プラズマ応用科学誌29号』に大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 白石研究室 2年 中野一朗さんの投稿論文が掲載されました。タイトルは「周期的レーザー照射強度変化に対するレーザー支持爆轟波伝播の堅牢性(共著者:工学部 機械工学科 白石裕之教授)」。宇宙レーザーエンジンに必須の現象であるレーザー支持誘起衝撃波には照射強度によって爆轟波と燃焼波の2つの形態が存在するが、本論文ではレーザー強度変化によって両者がどのように遷移していくのかが解明されました。

服部俊佑さん、飯田大智さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

## 日本流体力学会「年会2021」で研究発表を行いました

9月21日(火)～23日(木・祝)に日本流体力学会「年会2021」が東京大学で開催されました。大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 坪井研究室 2年 服部俊佑さん、1年 飯田大智さんがJAXAと共同研究を行っている下記の内容で研究発表を行いました。

### ◆服部 俊佑さんの研究テーマ

SLD着氷のスラッシュモデル構築に向けた低温平板への粗大液滴衝突試験  
Experimental Study of Large Droplet Impingement on Cooled Flat Plate toward a Splash Model Development for SLD Icing  
服部俊佑(大同大学大学院),坪井涼(大同大学),鈴木正也(JAXA),水野拓哉(JAXA)

### ◆飯田 大智さんの研究テーマ

着氷現象における単一液滴の固体表面への衝突・飛散挙動に関する研究  
Study on Impingement and Splash Behavior of a Single Droplet on a Solid Surface in the Icing Phenomenon  
飯田大智(大同大学大学院),坪井涼(大同大学),鈴木正也(JAXA),水野拓哉(JAXA)

### 日本流体力学会 年会2021についてはこちら

<https://www2.nagare.or.jp/nenkai2021/>

### 日本流体力学会HPはこちら

<https://www.nagare.or.jp/>



白山太一さん(機械システム工学科)

## RoBoRoBo Summer Camp 2021の講師を務めました

10月29日(金)～31日(日)に未来のロボットクリエイター育成プロジェクト「ロボロボサマーキャンプ2021」が沖縄県の沖縄産業支援センターで開催されました。工学部 機械システム工学科 2年 白山太一さんは、主催であるロボロボの会から依頼を受け、講師を務めました。

公式HPはこちら

<https://sites.google.com/view/roborobo-summer-camp/home>



高田晃希さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

## Particles 2021で口頭発表を行いました

10月4日(月)～5日(火)にドイツ ハンブルクのスカンディック ハンブルク エンボリオ ホテルで開催された「Particles 2021」に大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 前田研究室 1年 高田晃希さんが参加し、口頭発表を行いました。「Particles 2021」の正式名称は「VII International Conference on Particle-Based Methods, Fundamentals and Applications」となっており、和訳すると「第7回粒子ベース数値解析に関する国際会議/基礎と応用」です。2年に1度、バルセロナとハノーバーで交互開催されて来ましたが、今年度はハンブルクでの開催となりました。昨今の情勢を踏まえ、会議は対面とオンラインのハイブリッドモードで開催されました。

粒子法解析は古くからある解析手法ですが、高いコンピュータ性能を要求したため、あまり注目されていませんでした。21世紀になって、コンピュータの性能アップとともに注目を浴びています。その粒子ベースの数値解析に関するシミュレーションについての会議です。高田さんは「Direct observation and simulation of ladle pouring and plunger advancing behaviors in die casting process」と題して対面にて発表を行いました。

Particles 2021のHPはこちら

<https://particles2021.cimne.com>



▲発表する高田さん



塩見健太さん(大学院 情報学研究科 情報学専攻)

## 地域イベントにクイズゲームアプリを提供しました

大学院 情報学研究科 情報学専攻 朝倉研究室 1年 塩見健太さんが社会福祉法人名古屋キリスト教社会館主催の地域イベント「MACHIフェス～でいい ふれあい そだちあい～」の企画の一環としてクイズゲームアプリを提供しました。「MACHIフェス」は11月3日(水・祝)に開催された、南区の各地域で様々な企画を実施し、地域住民の交流を図るイベントです。

塩見さんは、「コロナの影響で暗いニュースが多い今、少しでも明るくしたいと思い協力させていただきました。このような形で地域に貢献することができ、とても光栄です。少しでも明るくなり、楽しんでいただけたのであれば幸いです。」と感想を述べていました。



▲作成したアプリと塩見さん

また、塩見さんはこれまでにも「伊勢湾台風60年市民防災の集い(2019年)」など、様々な地域イベントに協力し、ゲームアプリの提供やレクリエーション企画等を手掛けられています。

丸山寛矢さん(情報デザイン学科)

## 「なごや環境大学」ガイドブック表紙デザインコンテストで最優秀賞を受賞しました

「なごや環境大学」ガイドブック表紙デザインコンテストで情報学部 情報デザイン学科 メディアデザイン専攻 3年 丸山寛矢さんの作品が最優秀賞を受賞しました。

「なごや環境大学」は持続可能な都市の実現に向けて、社会の多様な主体が「行動しやすくなるしくみづくり」を推進する、さまざまな重点プロジェクトに取り組んでいます。

毎年発行されるガイドブックは公募で表紙デザインを選定しており、エネルギーや環境に関する要素を色鮮やかで親しみやすいイラストレーションにまとめあげた丸山さんのデザインが、全国のプロのグラフィックデザイナーも参加するコンテストで、2021年度後期ガイドブックの表紙デザインとして採用されました。

ガイドブック表紙デザインコンテストの詳細はこちら

<https://www.n-kd.jp/blog/esdprj/2021/08/18/2306/>

なごや環境大学のHPはこちら

<https://www.n-kd.jp/>



▲丸山さんの作品



中野宗一郎さん(情報デザイン学科)

## 就職活動促進冊子を作成しました



▲中野さんの作品(表紙)

情報学部 情報デザイン学科 メディアデザイン専攻 3年 中野宗一郎さんが、授業を通して、就職活動促進冊子を作成しました。授業を履修している学生全員が冊子を作成し、授業の担当教員である同学科 桐山岳寛講師とキャリアセンターの方々の選出により、中野さんの作品が採用されました。作成した冊子が、実際にキャリアセンターの就職活動イベントである、就職ガイダンスで配布されました。

新美佑馬さん(情報デザイン学科)

## 地域イベントにポスター設計を提供しました

情報学部 情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻 横山研究室 3年 新美佑馬さんが社会福祉法人名古屋キリスト教社会館主催の地域イベント「MACHIフェス～でいい ふれあい そだちあい～」のポスターを作成しました。

「MACHIフェス」は11月3日(水・祝)に開催され、南区の各地域で様々な企画を実施し、地域住民の交流を図るイベントです。



▲新美さんが作成したポスター

新美さんはポスターのデザインについて「家族向けのイベントだったため絵本のような楽しいポスターになるように心がけました。」と話します。このポスターは、名古屋キリスト教社会館の特設ページに掲載されると共に、本学周辺の地域に掲示・回覧されました。



MACHIフェスのHPはこちら

<https://www.shakaikan.com/page-2294>

保田勇晴さん(情報デザイン学科)

## 第12回ポスターグランプリで最優秀賞を受賞しました

第12回ポスターグランプリで情報学部 情報デザイン学科 メディアデザイン専攻 3年 保田勇晴さんが最優秀賞・グランプリを受賞しました。ポスターグランプリは、中部地区印刷協議会を構成する愛知・岐阜・三重・石川・富山の5県印刷工業組合と愛知県印刷共同組合が主催しています。本グランプリで、最優秀

賞を受賞したのは、保田さんが初めてとなります。

応募規定であるB1サイズ(728×1030mm)のポスター制作に前期～夏休み期間を使って取り組み、それぞれの自由な発想から「縁」を表現しました。一般デザイナーの応募者を含むコンテストでの健闘でした。



横山蓮さん、槇孝輔さん、土井太朗さん、丸山寛矢さん、嶋田菜帆さん、正木若さん、松原知里さん(情報デザイン学科)

## 第12回ポスターグランプリで入賞・入選しました

第12回ポスターグランプリで情報学部 情報デザイン学科 メディアデザイン専攻 3年 横山蓮さん、槇孝輔さん、土井太朗さんが入賞、丸山寛矢さん、嶋田菜帆さん、正木若さん、松原知里さんが入選しました。ポスターグランプリは、中部地区印刷協議会を構成する愛知・岐阜・三重・石川・富山の5県印刷工業組合と愛知県印刷共同組合が主催しています。

応募規定であるB1サイズ(728×1030mm)のポスター制作に前期～夏休み期間を使って取り組み、それぞれの自由な発想から「縁」を表現しました。一般デザイナーの応募者を含むコンテストでの健闘でした。

入賞・入選した学生は以下の通りです。

(株)共同紙版ホールディングス賞:横山蓮さん

国際紙パルプ商事(株)賞:槇孝輔さん

中央紙通商(株)賞:土井太朗さん

入選:丸山寛矢さん 嶋田菜帆さん

正木若さん 松原知里さん



第12回ポスターグランプリの審査結果はこちら

<http://www.ai-in-ko.or.jp/news/docs/be8ca7e7be8855d7e0c79b329726fbf3aa888c54.pdf>

林秀行さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

## Designシンポジウム2021で研究発表を行いました

7月14日(水)～16日(金)に精密工学会が主催するDesignシンポジウム2021が開催されました。このシンポジウムで、大学院 工学研究科修士課程 機械工学専攻 大嶋研究室 2年 林秀行さんが、「高減速比・高寿命が可能なスライダ減速機の開発」について研究発表を行いました。この学会発表に合わせて、林さんが考案した「スライダ減速機」の特許申請も行なっています。

シンポジウムの詳細はこちら

<https://d-sym.jp/>



林秀行さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

## 減速機に関する特許を出願しました

6月8日(火)に大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 大嶋研究室 2年 林秀行さんが減速機に関する特許を出願しました。

特許内容は、精密工学会が主催するDesignシンポジウム2021で発表した「スライダ減速機」についてです。

関連記事はこちら

Designシンポジウム2021で研究発表を行いました/

大学院 修士課程 林秀行さん

[https://www.daido-news.jp/daido\\_news/student/design-2021.html](https://www.daido-news.jp/daido_news/student/design-2021.html)



林秀行さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

## ロボティクス・メカトロニクス 講演会 2021 in Osakaで研究発表を行いました

6月6日(日)～8日(火)に日本機械学会が主催するロボティクス・メカトロニクス講演会 2021 in Osakaが開催されました。この講演会で、大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 大嶋研究室 2年 林秀行さんが、「サイクロ遊星歯車減速機の性能向上」について研究発表を行いました。この学会発表に先立って、林さんが考案した「サイクロ遊星歯車減速機」の特許申請も行なっています。

ロボティクス・メカトロニクス講演会の詳細はこちら

<https://robomech.org/2021/>



林秀行さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

## 日本機械学会2021年度年次大会で研究発表を行いました

9月5日(日)～8日(水)に日本機械学会が主催する2021年度年次大会が開催されました。この年次大会で、大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 大嶋研究室 2年 林秀行さんが、「三角波を用いた小型歯車の開発」について研究発表を行いました。

この学会発表に合わせて、林さんが考案した「三角波歯車」の特許申請も行なっています。

日本機械学会2021年度年次大会のHPはこちら

<https://confit.atlas.jp/guide/event/jsm2021/top?lang=ja>



## 田中研究室(機械工学科)

# 日本銅学会誌「銅と銅合金」に論文が掲載されました

日本銅学会誌「銅と銅合金」に工学部 機械工学科 田中研究室 2020年度卒業生 岡良樹さん、杉本智紀さんの卒業研究が第一報として掲載されました。田中研究室では、公益財団法人天田財団の重点研究開発助成を受け、2018年度よりテーマ「工具鋼の高品質レーザ積層造形および銅との接合造形」を取り組んでいます。

レーザ積層造形とは、レーザ加工機の高性能化とともに従来の粉体肉盛り法が3D造形技術として進化したもので、切削が困難な硬質形状や特殊材料の接合加工に応用されるようになりました。しかし金型用の工具鋼SKD61は国内であまりレーザ加工の研究例がなく、造形条件が不明でした。また、金型材の冷却を促進する働きのある銅と接合するハイブリッド加工例もありませんでした。著者らは粉末に投入されるエネルギー密度を計算し、一層ごとのレーザ出力を調整して、銅板上に高さ7ミリ程度の直方体を接合造形できることを示しました。専用の3Dプリンターでは、はるかに微量ずつ造形し長時間を要するのに対し、今回的方法は工具鋼の高速な造形法として汎用加工機に実装できる利点があります。

### 日本銅学会のHPはこちら

<http://copper-brass.gr.jp/>



## 情報デザイン学科

# 瓦猫プロジェクト 第2期へ!

2020年6月から始まった「瓦猫プロジェクト」で産まれた製品が、いよいよ発売となりました。

この発売プロモーションを、情報学部 情報デザイン学科 上岡教授指導のもと、同研究室 4年 大隅真奈さん、城原加奈さん、所河雅斗さんが担当し、製品HP、通販用HP、PR用ブログNOTEを企画制作しました。今まで多くのテレビ局や新聞社などから取材された記事は製品HPに記載しています。

### 製品HPはこちら

<https://sites.google.com/noyasu.com/kawaranekopj/> ホーム



## 関連記事はこちら

### メーテレ「アップ!」で瓦猫プロジェクト商品化作品が紹介されました!/情報デザイン学科

[https://www.daido-news.jp/daido\\_news/teacher/post-440.html](https://www.daido-news.jp/daido_news/teacher/post-440.html)



### 産官学連携「瓦猫プロジェクト」がインターペット愛知に出展しました/上岡研究室、舟橋研究室

[https://www.daido-news.jp/daido\\_news/student/ueoka.html](https://www.daido-news.jp/daido_news/student/ueoka.html)



### 瓦猫プロジェクト始動中!/上岡研究室、舟橋研究室

[https://www.daido-news.jp/daido\\_news/teacher/post-365.html](https://www.daido-news.jp/daido_news/teacher/post-365.html)



## 川福研究室(電気電子工学科)

# 無線駆動車両走行会を実施しました

9月13日(月)に工学部 電気電子工学科 川福研究室 4年生が、研究の基礎学習最終課題として無線駆動車両(RCカー)の走行会を実施しました。

この走行会は川福研究室で毎年実施している研究発表会で、複数のチームに分かれて課題(カメラを搭載したRCカーを別部屋から操作し、走行させるプログラムを作成)に取り組んだ成果を披露します。ドライバーはRCカーに搭載されたカメラの画像をPCの画面で見ながら操作します。単に走行するだけでなく、チームごとにギミック(仕掛け)を追加することが条件になっており、今回はPCの画面上にスピードメータを表示させて走行を補助したり、クルーズコントロールによる走行やマウスを利用した運転操作などのギミックが搭載されていました。参加者は機敏に動くRCカーをコントロールするのに苦労しながらもすぐに慣れて、ギミックを用いて走行することを楽しんでいました。

なお、この走行会で指摘された事項や学生自らが気づいた改良点を基に、本格的な卒業研究に取り組んでいきます。



▲走行会の様子

## 情報デザイン学科

# 瓦猫プロジェクトの商品化作品が紹介されました

2020年6月から始まった「瓦猫プロジェクト」で産まれた製品が発売となり、その後様々なメディアで商品化作品が紹介されました。

5月27日(木)の中日新聞朝刊を皮切りに、6月22日(火)には東海テレビ「ニュースOne」(毎週月曜~金曜午後4時49分放送)で、6月24日(木)にはNHK「まるっと!」(毎週月曜~金曜午後6時10分放送)、7月1日(木)には中京テレビ「キャッチ!」(毎週月曜~金曜午後3時48分放送)でそれぞれ、情報学部情報デザイン学科 上岡研究室と舟橋研究室に所属する学生らがデザインした「瓦素材を使用した猫用ペットハウス」が紹介されました。6月24日(木)に放送されたNHK「まるっと!」では、舟橋准教授の実験室で生放送の収録を行い、商品化作品の一つ『かまくら』をデザインした情報デザイン学科 4年 若園康行さんが、デザインに込めた想いや拘った部分などを番組内で熱く語りました。



高浜の老舗メーカーと大同大生

▲5月27日(木)付 中日新聞

瓦のネコハウス制作  
高浜の老舗メーカーと大同大生  
5月27日(木)付 中日新聞

## 杉本研究室(情報デザイン学科)

# 2021年大学プロモーションビデオを作成しました

「5分でわかる大同大学」に2021年大学プロモーションビデオを掲載しました。大学プロモーションビデオは、2015年より情報学部 情報デザイン学科 杉本研究室にて製作されており、今年度は新校舎X棟を舞台に、2人の主人公が本学での活動を通して成長していく姿を主人公の背中を通して表現しております。本ビデオは企画、撮影、編集等全て学生の手によって製作されております。ぜひご覧下さい!

### 5分でわかる大同大学 大学紹介ムービー & 大同大学キャンパスレポート

<https://www.daido-it.ac.jp/gallery/>



## 情報デザイン学科

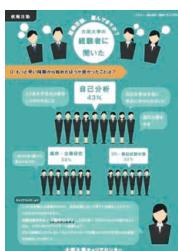
### キャリアセンターの就活促進チラシを学生が作成!

情報学部 情報デザイン学科では、キャリアセンターの協力のもと、授業課題として「就活促進チラシ」を作成しています。

今期は、提出された作品の中から情報デザイン学科 3年 嶋田菜帆さん、丸山寛矢さんの各作品が優秀作として選出され、就職活動イベントで配布されました。デザインの選考には、授業を担当する教員だけでなくキャリアセンター職員の現場の意見が反映されています。デザインの視覚的なメッセージ性や分かりやすさなど、さまざまな観点から評価が行われました。



▲丸山さんの作品



▲嶋田さんの作品

## 情報デザイン学科

### 就職活動応援ポスターを作成しました!

情報学部 情報デザイン学科では、キャリアセンターの協力のもと、授業課題として「就職活動応援ポスター」の作成に取り組みました。この課題で提出された作品の中から優秀作品4点が選出され、情報学部 情報デザイン学科 メディアデザイン専攻 4年 梶原瑛璃佳さん、加藤榛華さん、近藤眞世さん、正木蓮花さんの各作品がキャリアセンター前に掲示されました。

ポスターのテーマは「後輩である本学3年生への就職活動応援メッセージ」。それぞれの作品が、自分自身の活動体験や考え方を画面に反映しており、気持ちを鼓舞するものや具体的なアドバイスが含まれたものなど、オリジナリティに溢れた表現となっています。キャリアセンターを訪れた際にぜひご覧ください。



▲加藤さんの作品

▲梶原さんの作品

▲近藤さんの作品

▲正木さんの作品

## 中島研究室

(建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻)

# 「第28回美濃和紙あかりアート展」で受賞しました

10月10日(日)～23日(土)に開催された、「第28回美濃和紙あかりアート展」に、工学部 建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻 中島研究室から4作品出品し、そのうちの2作品が「美濃和紙あかりアート大賞」と「ライトアップ賞(古川秀昭賞)」を受賞しました。

美濃和紙あかりアート展は、「美濃和紙」と「うだつの上がる町並み」を融合し1994年から開催されているイベントで、1300年の伝統を誇る「美濃和紙」を使用するあかりのオブジェを全国公募し、「うだつの町並み」に展示しています。あいにく、コロナ禍により、今年度の審査会は屋内会場で行われましたが、一次審査を通過した一般部門144作品および小中学生部門作品を町並み展示しました。WEB展示も行われていますので、美濃和紙あかりアート展HPをご覧ください。

受賞内容は下記の通りです。

### 「美濃和紙あかりアート大賞」

建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻 中島研究室

### 「ライトアップ賞(古川秀昭賞)」

建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻 中島研究室

4年 佐藤 美鈴さん、西澤 慎一さん、山本 卓磨さん

### 美濃和紙あかりアート展HP

<https://www.akariart.jp>



▲中島研究室「ナイト・オン・ザ・ニュー・ネット」



▲佐藤さん、西澤さん、山本さん  
「穿孔」



## 前田研究室(機械工学科)

### 日本铸造工学会

# 「学生向け铸造方案勉強会」で発表を行いました

8月23日(月)～9月30日(木)に日本铸造工学会が主催する学生向け铸造方案勉強会が開催されました。

9月30日(木)に行われた発表・評価会では、11チームが発表を行い、大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 2年 丹羽大樹さん、1年 滝康佑さん、西原大貴さん、船橋幹人さん、水野旭さん、工学部 機械工学科 4年 山田徹さんが考えた、铸造方案の発表を行いました。

公益社団法人 日本铸造工学会のHPはこちら

<https://jfs.or.jp/>



宮本潤示講師(機械工学科)

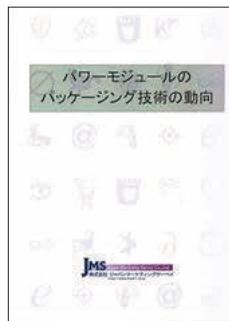
## 「メカニカル・サーフェス・テック」 2021年6月号に記事が掲載されました

メカニカル・テック社の発行する隔月誌「メカニカル・サーフェス・テック」2021年6月号に、工学部 機械工学科 宮本研究室の研究開発動向について記事が掲載されました。様々な表面改質技術を特集する「キーテク特集」において、本号では「窒化処理」の特集が組まれ、当研究室で行っている最先端のプラズマ窒化研究の開発動向が紹介されました。

山田靖教授(電気電子工学科)

## ジャパンマーケティングサーベイの セミナで講師を務めました

6月10日(木)に、ジャパンマーケティングサーベイの技術セミナ「パワーモジュールのパッケージング技術の動向」で工学部 電気電子工学科 山田靖教授が講師を務めました。



山田教授が担当したのは、「金属粒子を用いた高耐熱接合技術」で、EV/HV技術や次世代パワー半導体の説明に引き続き、接合技術に求められる要件、概況について解説しました。そして、Cuナノ粒子接合技術について、加圧と無加圧接合の双方に関して、最新の研究結果を説明しました。さらに、接合技術の特性評価方法についても述べました。

加納善明准教授(電気電子工学科)

## 中津川工業高校での 技能実習の講師を務めました

7月中旬の3日間に中津川工業高校で大同特殊鋼(株)の中津川先進磁性材料開発センターが技能実習を行い、工学部 電気電子工学科 加納善明准教授が講師を務めました。

技能実習は同校の電子機械科3年生39人を対象に、走行ラインを追跡するロボット走行車を制御する実習を行いました。

最終日の20日(火)には、生徒がプログラミングしたロボット走行車のレースを行い、その様子を中津川市の青山節児市長が視察され、生徒たちの生き生きとした表情に感動されていました。

この技能実習の開催は、本学のモータ研究センター設立の趣旨の一つである、将来を担う電気電子技術者的人材育成活動の一環です。



▶ 技能実習の様子

山田靖教授(電気電子工学科)

## 専門図書の執筆と監修をしました

工学部 電気電子工学科 山田靖教授が、シーエムシー出版の専門図書「先端パワーデバイス実装技術」の執筆と監修をしました。

山田教授が執筆したのは、第4章のWBGパワーモジュール実装材料の4.2接合および接続材料の項です。

パワーモジュールにおいて接合に求められる要件、接合技術の研究開発動向・事例について述べた後に、課題と展望についても触れました。

また、全体の監修も担当しています。



山田靖教授(電気電子工学科)

## エレクトロニクス実装学会誌に 寄稿しました



工学部 電気電子工学科 山田靖教授が、エレクトロニクス実装学会誌 2021年9月号に、2件寄稿しました。

1件目は、エレクトロニクス実装教育特集の「特集に寄せて」で、趣旨・概要について述べました。

2件目は、次世代パワーデバイス実装技術の連載講座で、「パワーデバイス実装用接合技術」について解説しました。

山田教授は、同学会の常任理事、会誌発行委員長、MES論文副委員長を務めています。

武藤隆教授(建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻)

## 第37回JIA東海支部設計競技の 審査員長を務めました

第37回JIA東海支部設計競技で工学部 建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻 武藤隆教授が審査員長を務めました。

このJIA東海支部設計競技は、骨太なテーマで、地方ならではなスタンスを保ち続けていて、とても意義のある機会を作り出しているコンペです。

昨年度はコロナ禍で中止となりましたが、今年から再開されました。

今回のテーマは「血のつながらない家族の家」です。

「第37回JIA東海支部設計競技」の詳細は[こちら](http://www.jia-tokai.org/competition/top.htm)  
<http://www.jia-tokai.org/competition/top.htm>





桐山岳寛講師(情報デザイン学科)

## 8/8(日)中日新聞 広域岐阜ページに講評が掲載されました

8月8日(日)中日新聞朝刊 広域岐阜ページに情報学部 情報デザイン学科 桐山岳寛講師の講評が掲載されました。

日本国際ポスター美術館(岐阜県大垣市)が主催する「第20回全国高校生ポスター・コンクール」で桐山講師が審査員を務め、国際的な著名ポスター作家として知られるU.G.サトー氏とともに審査にあたりました。

今年度は「まつり」をテーマに日本全国の高校生から638点のポスター応募があり、桐山講師は、同コンクールのディレクターとして企画、運営、印刷物デザイン制作等を指揮しました。

8日(日)に実施された表彰式では、受賞者や関係者を前に審査員代表として講評を述べました。



▲8月8日(日)付 中日新聞

小屋菜穂子准教授(教養部 保健体育教室)

## 東京2020オリンピックで分析サポートとして参加しました

7月23日(金・祝)から開催された東京2020オリンピックにおいて、教養部 保健体育教室 小屋菜穂子准教授が公益財団法人 日本テニス協会強化サポート委員のデータ分析担当として参加しました。前回のリオ五輪で銅メダルを獲得した錦織選手や今回聖火最終ランナーを務めた大坂選手に期待が集まり、Team Japanとしてベストを尽しましたが、残念ながらテニス競技のメダルは叶いま

せんでした。

活動していた場所は、味の素ナショナルトレーニングセンター内にあり、他競技団体のスタッフも動画をもとに様々なデータを分析していました。実際に試合をするのは選手ですが、そのパフォーマンスを支える人の存在を改めて考える機会となりました。

宮島千代美教授(情報システム学科)

## 自動車技術会技術部門貢献賞を受賞しました

情報学部 情報システム学科 宮島千代美教授が自動車技術会技術部門貢献賞を受賞しました。

この賞は、自動車技術会アクティブセイフティ部門委員会の活動における幹事としての貢献、並びに交通事故ゼロを目指した国際シンポジウムの開催への貢献に対して授与されたものです。授与式はオンラインにて開催され、賞状並びに受賞者プロフィール(昨年度の研究室卒業生との写真)が紹介されました。



本人：後ろから2段目右側



### [プロフィール]

専門領域 情報学、運転行動モデリング、ドライバ評価

### コメント

お世話になっている関係者の皆さんに深く感謝するとともに、幹事として、教員・研究者としてこの分野に貢献できたらと考えております。

神保睦子学長

## 『電気学会誌』9月号に掲載されました

一般社団法人 電気学会が発行している『電気学会誌』9月号(Vol.141 No.9)に、神保睦子学長の執筆記事が掲載されました。

本雑誌の巻頭ページ「隨想」に「コロナ禍(COVID-19)と大学教育」と題して、新型コロナウイルス感染症拡大に見舞われた2020年度の対応やインターネットによる国際交流について寄稿されました。

記事の中では、建築学科とイタリアのミラノ工科大学で実施している連携授業「C-SCAPE」をインターネットによる国際交流を行う

ことでコロナ禍でも海外交流の一形態として非常に有効であること、新入生のPC必携化を進め、遠隔授業に対するアンケートから、コミュニケーションが取りにくい学生がチャット等で質問ができるこことや、怪我で長期に休む学生に対する講義のフォローに利用できるなど、アフターコロナの教育の中に活かせることも多数見出されたことについて述べていました。

一般社団法人 電気学会のHPはこちら

<https://www.iee.jp/>



浦井一教授(電気電子工学科)

## 『電気学会論文誌B』11月号に論文が掲載されました

一般社団法人 電気学会が発行している『電気学会論文誌B』11月号に、工学部 電気電子工学科 浦井一教授の論文が3件掲載されました。

開閉保護技術特集号に、特集解説「持続可能な社会に向けた高電圧開閉技術の開発動向」、論文2編「Arc and Fluid Dynamics Simulation for High-Voltage Circuit Breakers as a Design Tool」、「温度・圧力が異なる2領域を有する高温SF6ガス中の電子なだれ進展過程の解析的検討」が掲載されました。

電気学会HPはこちら

<https://www.iee.jp/pub/magazine/>



浦井一教授(電気電子工学科)

## 電気学会「電力・エネルギー部門大会」、「基礎・材料・共通部門大会」で座長を務めました

8月24日(火)～26日(木)に電気学会「令和3年 電力・エネルギー部門大会」が、9月1日(水)～3日(金)に電気学会「令和3年基礎・材料・共通部門大会」が開催され、工学部 電気電子工学科 浦井一教授が座長を務めました。

電力・エネルギー部門大会では、3日間にわたって、論文発表、座談会、バーチャルツアーが行われ、浦井教授は、8月24日(火)の午前に行われた「アーク現象I」の座長を務めました。

また、基礎・材料・共通部門大会では、3日間にわたって、オープニング、特別講演、クロージング(表彰式)が行われ、浦井教授は、9月3日(金)の午後に行われた「英語セッション基礎・材料」の座長を務めました。

電気学会「電力・エネルギー部門大会」の  
HPはこちら

[https://www.iee.jp/pes/b\\_event\\_r03/](https://www.iee.jp/pes/b_event_r03/)

電気学会「基礎・材料・共通部門大会」の  
HPはこちら

[https://www.iee.jp/fms/a\\_event/r3/](https://www.iee.jp/fms/a_event/r3/)



浦井一教授(電気電子工学科)

電気学会

## 「放電・プラズマ・パルスパワー/静止器/開閉保護合同研究会」にて座長を務めました

7月7日(水)～8日(木)に電気学会「放電・プラズマ・パルスパワー/静止器/開閉保護合同研究会」がオンラインで開催され、工学部 電気電子工学科 浦井一教授が座長を務めました。

本大会では、2日間にわたって特別講演などが開催され、浦井教授は8日(木)の午後に開催された「英語セッション」の座長を務めました。

嶋田喜昭教授(建築学科 土木・環境専攻)

## 公益財団法人豊田都市交通研究所「令和3年度研究成果報告会」でコメントーターを務めました

公益財団法人豊田都市交通研究所の「令和3年度研究成果報告会」が7月1日(木)に豊田産業文化センターで開催されました。

報告会では、特別講演や研究報告などが行われ、工学部 建築学科 土木・環境専攻 嶋田喜昭教授が研究員の研究成果「自転車通行空間利用向上に向けた新たなアプローチの試み」に対するコメントーターを務めました。

公益財団法人 豊田都市交通研究所の  
HPはこちら

<https://www.ttri.or.jp/>



**増田友規さん  
(2020年度修了生 大学院 情報学研究科 情報学専攻)  
『電気学会論文誌C』12月号に  
掲載されました**

一般社団法人 電気学会が発行している『電気学会論文誌C(電子・情報・システム部門誌)』12月号(Vol.141 No.12)に、情報学部 情報システム学科 不破勝彦教授と、2020年度 大学院 情報学研究科 修士課程 情報学専攻 修了生 増田友規さんらが投稿した論文「2次遅れ系における計測不可能な入力の推定器の安定化」が掲載されました。

本論文は、2020年9月3日(木)に令和2年度電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会で発表された内容をまとめたものです。研究対象となる推定器は、そのゲインを無限大にすることで、システムの挙動を乱す外乱(計測不可能な入力)を推定することができますが、実装においては有限でのゲインを設定しなければならず、その際の設計法についてはこれまで提案されておりませんでした。論文では、ゲインを有限にした場合において、推定器の安定性は担保したままで、推定性能を調整可能なパラメータが存在することを数学的に解明し、推定器の設計アルゴリズムを構築することに成功しました。力学系などのシステムに提案法は有用であることが、ゲイン特性を通じて検証されております。

**一般社団法人 電気学会のHPはこちら**

<https://www.iee.jp/>



**上野拓人さん、田中聖竜さん(2020年度卒業生 建築学科)**

**第26回「JIA東海学生卒業設計コンクール2021」で入選しました**



▲上野さんの作品



▲田中さんの作品

5月29日(土)、公益社団法人日本建築家協会東海支部が主催する『JIA 東海学生卒業設計コンクール2021』の二次審査会が行われ、工学部 建築学科 建築専攻 船橋研究室 卒業生 上野拓人の「xxx-ing Mallization」、同学部 同学科 インテリアデザイン専攻 船橋研究室 卒業生 田中聖竜さんの「多重奏の作法ーインテリアの空間構成要素と行為の関係性ー」が入選を果たしました。

本コンクールは、「実社会で活躍する建築家と建築を学ぶ学生との交流の場を作り、広く建築家の仕事を理解する機会」とするとともに、「優れた後進の育成」をめざして毎年開催(2019、2020年は中止)されており、今年で第26回を迎きました。

二次審査会では、学外でのプレゼンテーションや建築家との質疑応答などを通じ、更なる学びの機会を得ることができました。

**最終結果はこちら**

<http://www.jia-tokai.org/info/1242>



**田中聖竜さん(2020年度卒業生 建築学科)**

**第52回『毎日・DAS  
学生デザイン賞 空間デザイン部門』  
で入選しました**

毎日新聞社・一般社団法人総合デザイナー協会が共催する『第52回毎日・DAS学生デザイン賞 大学生の部 空間デザイン部門』にて、工学部 建築学科 インテリアデザイン専攻 船橋研究室 2020年度卒業生 田中聖竜さんの「多重奏の作法ーインテリアの空間構成要素と行為の関係性ー」が入選を果たしました。

毎日・DAS学生デザイン賞は、毎日新聞社と総合デザイナー協会(DAS)が主催するデザインコンペティションであり、大学、高等専門学校、専修学校専門課程の在学生を対象に、デザイン界の人材を発掘し育成することを目的として開催されています。建築部門、グラフィック部門、プロダクト部門、イラスト部門、空間デザイン部門、ファッション&テキスタイル部門の計6部門に分かれており、グランプリ(金の卵賞)、部門賞、佐野正一賞などが授与されます。

**最終結果はこちら**

<https://das.or.jp/?p=9604>



▲田中さんの作品

**情報誌 月刊「近代建築」に  
新校舎X棟が掲載されました**

株式会社 近代建築社 が発行する最新の建物紹介をはじめ、タイムリーな特集記事として、教育施設等を紹介する建築に関心を持たれる幅広い分野の方々に向けた建築総合情報誌 月刊「近代建築」7月号に、新校舎X棟に関する記事が掲載されました。

記事では、新校舎建設の経緯や互いに見る・見られる・刺激しあう構成、「学びの教材」となる校舎について紹介されています。

**近代建築のHPはこちら**

<http://www.kindaikeinenchiku.co.jp/product1/>



総合情報学科 卒業生(ハンドボール部)

## 日本ハンドボールリーグで卒業生が活躍中!

8月28日(土)から開催されている、第46回日本ハンドボールリーグにおいて、本学の卒業生が選手として活躍しています。

現在、5名の卒業生がリーグでプレーしており、所属チームは以下の通りとなります。

### ○大同特殊鋼フェニックス

原田 一沙さん(2016年度 総合情報学科 卒業)

佐藤 快さん(2018年度 総合情報学科 卒業)

### ○トヨタ紡織九州

三重 樹弥さん(2018年度 総合情報学科 卒業)

### ○HC名古屋

福地 成以良さん(2017年度 総合情報学科 卒業)

### ○三重バイオレットアイリス

山岡 莉那さん(2019年度 総合情報学科 卒業)

卒業生の皆さんの活躍は、日本ハンドボールリーグ公式youtubeチャンネル「JHL TV」からご覧いただけます。

日本最高峰のリーグで躍動する卒業生のプレーを、ぜひ一度ご覧下さい!

### 日本ハンドボールリーグ

公式youtubeチャンネルはこちら

[https://www.youtube.com/channel/UCIBOT8i\\_EbAVULG-DyXtSXw/videos](https://www.youtube.com/channel/UCIBOT8i_EbAVULG-DyXtSXw/videos)



備一真さん

(2019年度卒業生 総合情報学科 経営情報専攻)

## 卒業生がバレーボール1部リーグで活躍します

2019年度情報学部 総合情報学科 経営情報専攻(現:経営情報コース) 卒業生 備一真さんがバレーボール1部リーグで活躍します。



本学のバレーボール部OBから初めて1部リーグで活躍 ▲バレーボール部顧問の山田先生(左)とOBの備一真する選手が誕生し、今回、大分三好ヴァイセアドラーに移籍・入団し、チームの一員として、10月15日(金)からリーグ戦に臨んでいます。

備さんは、大学4年間8季にわたり、東海リーグでベストリベロ賞を受賞、2年生の時にリーグ優勝を果たし、5学連選抜でも東海学連の初優勝に貢献した素晴らしい選手です。

卒業後、大同特殊鋼レッドスターでリベロとして活躍し、ルーキーシーズンでサーブレシーブ賞(81.0%)を受賞しました。

また、コロナ禍でもバレーボール部のコーチとして、後輩の指導も行ってくれていました。

みなさん、応援のほどよろしくお願ひします。

### バレーボール1部リーグ公式サイト

<https://www.vleague.jp/>

### 大分三好ヴァイセアドラー公式サイト

<https://weisseadler.com/>



## 2021年度前期学位記授与式を挙行しました

9月21日(火)にA棟にて2021年度前期学位記授与式を挙行しました。神保学長から卒業生1人ひとりに学位記が授与されました。



▲学位記授与式の様子

末永知子さん、菱田敏貴さん、小笠原尚哉さん、徳永彩乃さん、大石勇起さん

## 「私の改善」で表彰されました

キャリア支援室 末永知子さんと人事室兼企画室 菱田敏貴さん、教務室 小笠原尚哉さんと徳永彩乃さん、大石勇起さんが「私の改善」において表彰されました。

「私の改善」は事務職員が日常業務の中で発明考案・業務改善に取り組み、その業績が顕著であると認められた提案が表彰されるものです。各提案・表彰区分は以下の通りです。おめでとうございます。

### 優秀賞

末永知子さん(キャリア支援室)	資格講座・試験申込システムの導入
菱田敏貴さん(人事室兼企画室)	
小笠原尚哉さん(教務室)	Googleフォームを用いた試験実施調査のペーパーレス化及び業務改善
徳永彩乃さん(教務室)	

### 優良賞

大石勇起さん(教務室)	学生便覧の電子化
-------------	----------



▲左から徳永さん、小笠原さん、大石さん、高村常務理事



▲左から高村常務理事、末永さん、菱田さん

## オープンキャンパスを実施しました

2021年度は、7月17日(土)・18日(日)に夏オープンキャンパス、10月3日(日)に秋オープンキャンパスを実施しました。

### 夏オープンキャンパス

夏オープンキャンパスは、学科専攻別模擬実験・実習に加え、総合・推薦型入試対策講座を行いました。



### 秋オープンキャンパス

秋オープンキャンパスは、学科専攻別模擬実験・実習と各種入試対策講座を行い、2年ぶりにだいゾウくんもオープンキャンパスに参加しました。



DAIDO UNIVERSITY OPEN CAMPUS  
Information



### 「DAIDO CAMPUS」の表紙を 情報デザイン学科3年生の 羽根田旭騎さんがデザインしました

「冬、変化、挑戦」をテーマに表紙のデザインを制作しました。クリスマスツリーを山に例えてそこを登っていく様を大学でそれぞれの好きなことを学び、技術を磨いていくという挑戦として表現しました。一目見て冬だとわかるようにクリスマスツリーを大きく配置し、色味や装飾、サイズ感などを意識しこだわって作りました。打ち合わせを行い、様々な人の意見を聞いて試行錯誤しながらデザインを考えていくという過程がとても大変でしたが、新鮮で楽しかったと印象に残っています。最初は不安が多くありましたが、その分自信に繋がりました。今回のデザインを通して、経験を積むことがどれだけ自分の力になるかを学生の内に身をもって実感できたことは、とてもいい機会だと思いました。